

2021. 11. 25 <計2枚>

報道関係者 各位

立命館大学広報課

【立命館土曜講座のご案内】

12月テーマ：歴史都市ならではの防災について考える－観光客の目線から－
12月4日(土)・11日(土) 13:00～14:30 オンライン配信

12月の立命館土曜講座は、「歴史都市ならではの防災について考える－観光客の目線から－」をテーマに、オンライン(Zoom ウェビナー)で開講いたします。

歴史都市は、文化遺産や歴史的な街並みを目的に、多くの観光客が訪れる観光都市でもありますが、近年の日本では、大規模な自然災害が各地で発生し、多くの文化遺産や周辺地域の人々が深刻な被害を受けています。文化遺産防災や歴史都市防災を考える上では、観光資源としての文化遺産を守ることと同時に、市民や観光客の命を守ることも重要です。

本講座では、歴史都市防災研究所の企画のもと、本学教員が、歴史都市における観光客の防災、また観光客と市民の視点からみた歴史都市防災の必要性について、それぞれ専門家の立場から解説します。どなたでも無料で受講いただけます。本テーマにご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 12月テーマ「歴史都市ならではの防災について考える－観光客の目線から－」

(1)第 3346 回「歴史都市における観光客の防災」

日 時：2021年12月4日(土) 13:00～14:30

講 師：立命館大学政策科学部准教授 豊田 祐輔

(2)第 3347 回「観光客と市民の視点からみた歴史都市防災の必要性」

日 時：2021年12月11日(土) 13:00～14:30

講 師：立命館大学理工学部教授 小川 圭一

開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：400人 ※実施2日前17:00までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座のWEBサイトよりお申し込みください。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/re/k-rsc/kikou/doyokozakikoh.htm>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他：情報アクセス保障(手話など)については、講座実施日の10日前(前週の水曜日)までにご連絡ください。

以上

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当:武田・瀬古

TEL.075-465-8224

別紙

■講座内容

(1) 第 3346 回 「歴史都市における観光客の防災」

観光とは新しいことを知る、触れる、体験するなど、とても楽しい時間です。ただ、地震大国の日本では観光中に大地震が発生することを想定することが大切です。特に歴史都市は、風情のある狭い道が入り組んでいることが多く、古くからの都市構造が災害時には弱点となります。また、城郭も敵の侵攻を防ぐために複雑な構造となっているなど、観光の魅力が災害被害の拡大の原因となりかねません。ただ、楽しみを邪魔する不快な災害を考えたくないものです。また、観光客を受け入れる側にとっても、災害を強調することで観光客が訪問を躊躇することは避けたいものです。このような難しい状況の中で、観光客の防災をどのように考えていけば良いのでしょうか。

本講座では、観光客の災害に対する準備状況や、大地震時にとるであろう行動、実際にとった行動などの調査結果を参考に、観光客の受け入れ側である行政や観光スポット、そして住民が何を準備していくべきかを検討します。この課題の難しさに触れてもらえればと思います。

講師：立命館大学政策科学部准教授 豊田 祐輔

(2) 第 3347 回 「観光客と市民の視点からみた歴史都市防災の必要性」

災害から「守りたいもの」「守るべきもの」には、市民の人命、財産、社会を支えるインフラや産業基盤といった、さまざまなものがあります。その中で「文化遺産」は、どのくらいの重要性があるのでしょうか？ 歴史都市の防災計画において「文化遺産防災」を明確に位置付けるためには、災害から文化遺産を守ること、それに対して費用や労力を掛けることに対して、人々が合意することが必要になります。そのためには、文化遺産防災や歴史都市防災の必要性をできるだけ客観的に、数値として示すことが必要です。それでは、文化遺産や歴史都市の価値をどうやって数値として表すのでしょうか？

本講座では、観光客の行動や市民の意識、マスメディアの報道内容などをもとに、環境価値の計測をおこなう方法を用いて、観光客や市民の視点からみた文化遺産や歴史都市の価値を計測しようとする研究についてお話します。文化遺産や歴史都市に限らず、身近にあるものの「数値にできない価値」をどうやって数値にしようとするのか、またその方法にはどんな問題点があるのか、皆さんで考えてみましょう。

講師：立命館大学理工学部教授 小川 圭一

■立命館土曜講座について

1946 年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

WEB サイト：<http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/re/k-rsc/kikou/doyokozakikoh.htm>